

パラクライミング世界選手権 銀メダリスト

# 大内 秀之さん

## PROFILE

川西市出身の40歳。生まれてすぐ悪性腫瘍の摘出手術を受けるが、両脚に重い障がいが残り、ほとんど動かせなくなる。2017年にクライミングを始め、同年初開催されたパラクライミング日本選手権車椅子部門で優勝。その後3年連続日本一に輝き、2019年フランスで開催された世界選手権で銀メダルを獲得した。現在は堺市立健康福祉プラザで働く一方、「ダイバーシティ戦隊ヤルンジャーズ」のメンバーとして、川西を拠点に当事者の声を届ける活動に取り組む



## INTERVIEW

### 挑戦し続けることが 誰かを支える力になる

インタビューの全文は  
市ホームページで公開!



失敗の中に成長につながるヒントが必ずある——

好きなのは、1回1回成長があるところ。次のホールド（つかむところ）に届かないことがあっても、仲間アドバイスをもらい、握り方を工夫する。すると、前よりも少し近づく。また握り方を変えると、もっと近づく。それを繰り返すことでホールドに届くようになります。失敗の中にヒントが隠れていることに気付かされますね。

クライミングで世界に挑む中で、たくさん応援をしてもらいました。それが自分の力になっていくのを感じたんです。だからこそ、挑戦し続けることが、誰かを応援することにつながればうれしいです。例えば、引きこもって家から出られない人がいれば、出てきて一緒に登ろうぜと伝えたい。自分にもできるかもと思ってもらうきっかけになれば。それが、社会課題の多い時代に生まれた自分の役割だと感じています。クライミングでも、そうでなくても、挑戦し続けます。

過去の自分に恥じない自分でい続けること——

生まれた時、たまたま病気が見つかって治療してもらえたからこそ今の命があります。その時に頑張った自分に「頑張らなければよかった」と思われないようにしたいというのが原点。時々、足に激痛が走ることがあります。痛みに耐えられず、夜中に目がさめることも。だからこそ、痛くない時はポジティブでいよう、やりたいことをやろうと強く思いますね。



## CHECK & QUIZ

次の空欄（○の中）を埋めてください。

1：令和2年度 施政方針と○算案 2：かわにし子ども○プロジェクトチーム始動

クイズ正解者の中から図書カード（1,000円分）を5人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：市ホームページ（右の2次元コードからアクセス可）から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、3月10日（火）（消印有効）までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。

※2月号の正解は（災）（美）で、113件の応募がありました。



## 1月末現在の人口

男……………74,556人（-80）  
 女……………82,744人（-52）  
 計……………157,300人（-132）  
 世帯数…70,155世帯（-60）